

# 40歳からのLIFE SHIFT

「自分でできるがきっとみつかる」KAIGOの働き方



先輩のロールモデル・キャリアパスをのぞいてみませんか？



ひとくらし、みらいのために

厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

「自分でできる」がきっと見つかる  
これからのKAIGO



令和4年度介護のしごと魅力発信等事業(情報発信事業)



## 鮎川雄一さんの場合

### profile

1968年、東京都生まれ。2011年の東日本大震災と同時期に勤め先のアパレルメーカーが事業廃止に。2013年、44歳のときに福祉・介護の世界に飛び込む。介護老人保健施設やリハビリに特化した認知症対応型デイサービスなどを経て、現在は埼玉県新座市の高齢者相談センターで介護支援専門員(ケアマネジャー)。鮎川福祉デザイン事務所代表。

### 営業職

ファッション業界で  
20年間営業を担当

### コミュニケーション力

共感し、伝え、  
わかり合うために

### ヒアリング力

お客様の要望を  
捉え続けてきたスキル

### アイデア力

お客様のために  
工夫してきたスキル

# 私のポートフォリオと介護の現場のマッチング

## 全てが活きる

matching!

人と人との関わりがとて大切となる介護業界において、  
お客さまとのやり取りを行ってきた営業職のスキルは全てが活かせる!

## 信頼を築くために必要な力

matching!

受け答え、行動、同じことを伝える際にも、  
伝え方で印象は大きく違う。営業で培った人との会話が活きる!

## 本当の気持ちを引き出す力

matching!

遠慮がちなお高齢者から、本当の気持ちを引き出すことが、介護のスタート。  
求めていることを的確に把握する力が求められる。

## もっと喜んで、満足してもらう力

matching!

心身機能が低下する中でも、介護保険制度を使いながら  
どのように日常生活を送るか、  
前向きで快適に生活できるようにアイデアを絞る。

### 介護業界で身に付けた資格

- ホームヘルパー2級(現・介護職員初任者研修課程)
- 介護福祉士
- 介護支援専門員(ケアマネジャー)
- 終活ライフケアプランナー
- メンタル心理カウンセラー
- ジェロントロジー・マイスター(一般社団法人日本応用老年学会認定)
- キッズアスレティクス・インストラクター(日本キッズアスレティクス協会認定)など。

鮎川雄一さん

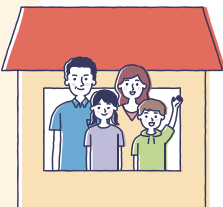
# 転職いきいきロールモデル

埼玉県内の高齢者相談センターでケアマネジャーとして働く鮎川雄一さんが介護の世界に足を踏み入れたのは43歳の時。約20年間勤めたファッション業界からの転身でした。思い切ったキャリアチェンジの背景には、東日本大震災で経験した価値観の転換がありました。

Future

## 家族との時間

忙しくても以前の仕事よりも家族と過ごす時間を確保できるようになった。夜勤はあるものの、シフト制がしっかりと組まれていて、家族と過ごす時間は増え、地域活動の予定も立てやすくなっている



## 「最年長の新人」として介護の世界へ!

障害者向けファッションブランド上げを進める中、福祉-介護の仕事に対する興味が強まり、ホームヘルパー2級課程を修了。介護福祉士の資格を取ろうという目標を掲げる

## 資格取得し 介護老人保健施設で 就労

資格を取った学校の紹介で都内の介護老人保健施設で働き始める



## 「全人的ソーシャルワーカー」を目指し、社会福祉士の資格取得へ向け勉強中

人間を、心と体、社会的立場などあらゆる角度からケアできるようになりたい。介護施設や介護保険制度だけに頼らず、コミュニティが持つ、人のネットワークや自然、公共施設などの資源を活かしながら、地域資源を活用した「インフォーマルサービス」をデザインする「福祉のデザイナー」として社会に貢献していきたい。



## 東日本大震災

アパレルメーカーが事業廃止に。更に東日本大震災が起こり、自分の未来が不透明なまま、気が湧かず、暗い気持ちが続いた

## アパレルメーカーの 営業職時代

始発から終電まで働き、売上げの数字に常に追われ胃がキリキリしていた



## 就職

KAIGO

LIFE  
SHIFT

## 地域活動

年齢、性別、障害の有無に関係なく参加できるユニバーサルスポーツのイベントを開催



## 起業家 セミナーに 参加

障害者に向けたファッションブランドを立ち上げようと始動

## 人とのつながり

高齢者相談センターではご利用者さんやご家族との信頼関係を構築。主宰するユニバーサルスポーツイベントでは、性別、障害を越えた地域のつながりが広がる



## やりがい

人生が終わりに近づいている人たちに、ポジティブな変化を起こせた瞬間が何よりうれしい。元気がなかった方が一瞬でも笑顔になってくれると、この仕事をやっていて本当に良かったなどと感動します



## 価値観の転換

これまでの人生、生活を振り返り収入、時間、やりがいを見つめ直した時、「介護に携わる」ことで様々な価値観が転換する





## 山田真由美さんの場合

### profile

1970年、神奈川県生まれ。株式会社ソーシャルビューティーフォト代表取締役社長。美容師。フォトグラファー。メイクと写真撮影の出張サービスを通じて、自己肯定感を高め意欲の向上を促す介護美容を実践している。シニア撮影プロカメラマン養成講座も開講。

### アパレル会社社員

結婚前に努めていた  
アパレル業界での経験

### 飲食店員

結婚後に家計の足しに経験した  
ファストフード店員

### 美容師

通信教育で3年間学び、  
42歳の時に美容師の資格を取得

### フォトグラファー

48歳で写真家に師事して  
フォトグラファーとなる

# 私のポートフォリオと介護の現場のマッチング

matching!

### 要望を引き出す力

ご高齢者の本当にしてほしいこと、やってみたいことを  
アパレル業界で培った「さりげなく引き出す力」が役立つ!

matching!

### スピード力(対応力)

テキパキと順序立てて効率良く働く力は、  
多くのタスクが発生する介護の現場で活きる!

matching!

### 美容力

身なりを整えることでご高齢者を元気にできる。  
いつまでもステキでいたい気持ちに寄り添える!

matching!

### 笑顔を引き出す力

一番いい表情を捉えることを大切にするフォトグラファーとしての視点が、  
ご高齢者から笑顔を引き出し明るくさせる!

### 介護業界で身に付けた資格

- ホームヘルパー2級(現・介護職員初任者研修課程)
- 介護福祉士
- ケアマネジャー
- 終活カウンセラー2級
- 生命保険募集人資格
- 損害保険募集人資格
- 美容師 など

山田真由美さん

# 転職いきいきロールモデル

専業主婦だった山田真由美さんが介護の世界に足を踏み入れたのは20年前。  
心に寄り添う介護をしたいという思いから、老人ホームで働きながら美容師の資格を取り、40代で写真家に師事。  
出張撮影を手がける会社を興し、ご高齢者らにメイクを施して写真を撮るサービスを展開しています。

## 人とのつながり

介護、美容、写真と、  
介護業界でやりたいことが増えるたび、  
人とのつながりも増えていく。  
仕事を通して人を  
笑顔にすることによって、  
人が集ってくる



## ホームヘルパー 2級過程終了!

主婦がホームヘルパー2級  
(現・介護職員初任者研修課程)の  
資格を取得するのが流行し、友人の勧めで  
32歳の時にホームヘルパー2級の資格を取得。  
介護を仕事にしようと決意



## ホームヘルパー 2級課程修了を目指す

介護老人保健施設やデイサービスなどに行った際に、  
てきぱきと働く流れが  
ファストフード店の業務と近く、  
可能性を感じて資格取得を目指し猛勉強



## 飲食店アルバイトを 経験

出産後、家計の足しにと  
ファストフード店でアルバイトを始める



## 就職

## 自立型有料 老人ホームに就労 介護福祉士の資格取得

介護の現場は、医療ではなく生活の場と気がつく。  
職員が楽しいと思えることでご利用者さんに喜んでもらえるものは、  
どんどん施設でやるべきだと思ひ、  
のちの「美容プロジェクト」のきっかけとなる



## 写真家に師事 フォトグラファーになる

メイクを施したご高齢者から  
「撮影写真にしたい」との要望があり、  
写真も学ぶことを決意。  
メイクと写真撮影の出張サービスを起業



## 美容師資格を取得

美容プロジェクトを立ち上げ始動。  
レクリエーションの時間を使い、  
ご利用者さんにメイクやネイルを施す



## やりがい

誰かのためというより、自分のために。  
何より自分がやっていて  
楽しいというのが大きい。  
美容も介護も写真も自分が好きなことで、  
好きなことをやって  
喜んでもらえるのは  
本当に幸せ



## 価値観の転換

Future

## 「介護美容」という 新しい分野の可能性を 拡げたい

設立した出張撮影会社の取り  
組みを通じて介護美容を職業と  
して成り立たせる後押しをしま  
い、多くの介護施設にも  
っと情報発信をして、笑顔で素  
敵な瞬間を写真に収めるフォト  
サービスをさらに広げて、たくさ  
んのご高齢者に元気になっても  
らいたい。



これまでの人生、生活を振り返り収入、時間、やりがいを見つめ直した時、「介護に携わる」ことで様々な価値観が転換する



## 高橋和人さんの場合

### profile

1961年岩手県生まれ。NPO法人「里・つむぎ八幡平」と一般社団法人「すばる」の理事長兼統括施設長を務める。大学中退後、国内外を旅行。20代後半から職を転々とし、盛岡市内で輸入インテリア店を15年営む。45歳の時に社会福祉法人の立ち上げに関わり、特別養護老人ホームの準備室長や事務長、施設長を5年余り経験。

### ホテルマン

接客は介護に通じる仕事

### 塾講師

いくつもの仕事に就く中で経験

### 飲食店員

ホールも調理場も全て経験

### 輸入インテリア店経営

15年にわたり経営してきた実績

# 私のポートフォリオと介護の現場のマッチング

## 人を想う力

matching!

ご高齢者の快適のために考えることが主となる介護の仕事において、お客さまファーストを貫く姿勢が活きる。

## わかりやすく伝える力

matching!

ケアプランを立て、ご利用者さんやご家族に説明する際などにも、内容をわかりやすく説明する技術が役立つ。

## ホスピタリティカ!

matching!

いくつもの仕事を迅速に同時にこなしながら、お客さまを満足させるために尽くす飲食の仕事が活きる。

## 自らが主体となり進める力

matching!

何が大切か、何をすべきか。自分が主体となって経営をしてきた経験が、2つの法人を立ち上げるバイタリティへとつながっている。

### 介護業界で身に付けた資格

- 社会福祉主事任用資格
- 介護支援専門員(ケアマネジャー)
- 認知症ケア専門士
- 認定農業者 など

高橋和人さん

# 転職いきいきロールモデル

高橋和人さんが、ふるさと岩手県で介護の世界に飛び込んだのは、失業中だった45歳の時。  
高校時代の先輩に誘われたのがきっかけでした。母親の認知症発症をきっかけに独立し、  
現在は二つの法人で、介護に農業を絡めた「半農・半介護」が特徴の、五つの施設を運営しています。

Future

豊かな終末期を

サポートするために

できることをしたい

ゆっくりでもいいのでその足で行動してもらおう。終末期だからこそ、「生きている」実感を持ってもらいたい。「半農・半介護」の「半農」の部分にもっと力を入れ、利用者さんが農業に関わる場面をもっと増やすことで日々の生活もより楽しくなる。介護は最後まで生きがいを持って生き抜くことをサポートする仕事だと思う。



## 故郷で介護法人をスタート!

2011年、49歳。母親の認知症発症をきっかけに独立。  
入所とデイサービスとを組み合わせ、  
父から受け継いだ田んぼと畑を介護と農業に活用したいとのイメージを描き、  
法人を立ち上げる

## 介護に特化したNPO法人

宅老所と認知症対応グループホーム・  
在宅型有料老人ホーム、共生型グループホーム、  
小規模多機能ホーム、障がい者グループホームと  
五つの施設を運営



## 農業にフォーカスした一般社団法人

障がい者や高齢者を含め、  
一般企業での就労が難しい人たちが  
野菜を栽培したり、米を作ったり、  
農作物の加工品の開発を行っている



## 人とのつながり

介護・農業ふたつの団体の運営を通し、  
人の輪が広がっていく。  
「半農・半介護」を実践する中で、  
ご利用者さんやご家族、  
農場で働く仲間たちとの  
絆が深まる



KAIGO  
LIFE  
SHIFT

## 価値観の転換

### やりがい

ひとつのことをやるより、  
いろいろ考えなければいけない方が好き。  
介護は自分に合った仕事だと思います。  
日々いろいろなことが起こる中で  
頭を働かせて個々に合った  
介護ができた時にやりがいを感じます



### 個人店を経営

職を転々とした後、  
盛岡市内で  
輸入インテリア店を15年営む



### 大学を中退後、 国内外を旅行

ワーキングホリデー制度で  
働いたことを皮切りに20以上の仕事を体験



### 就職

### 社会福祉法人の 立ち上げに関わる

高校時代の先輩に誘われ、社会福祉法人設立に関わる。  
人の縁を感じ一生懸命取り組んでみようという決意。  
特別養護老人ホームの  
準備室長や事務長、施設長を務める



これまでの人生、生活を振り返り収入、時間、やりがいを見つめ直した時、「介護に携わる」ことで様々な価値観が転換する

# 介護なら見つかる。介護なら活かせる。

～多様な仕事、多様な人、多様な働き方～

介護の現場には、多種多様な仕事があり、これまで身に付けてきたスキルを活かせる場所がきっと見つかります。働き方も、希望に合わせて選ぶことができます。新しい生き方、働き方の選択肢に、介護業界を検討してみてください。

